

足立区議会議長 工藤 てつや 様

足立区議会議員 44番 吉岡 茂 印

一般質問通告書

今定例会に下記要旨の一般質問を行いたいので、会議規則第59条第2項の規定により質問通告書を提出します。

記

行政区分	質問の要旨
1 都市建設行政	<p>1、六町のまちづくりについて</p> <p>平成10年から始まった六町地区の区画整理事業も今年で26年目を迎え、ようやく先が見通せる状況になってきた。</p> <p>一方で六町駅前区有地の活用や自転車駐車場の整備など、未だに不透明な部分も多数ある。そこで区画整理の完了を見据えた上で今後の計画やスケジュールについて質問をする。</p> <p>(1) 六町駅前区有地の施設計画について</p> <p>令和5年8月4日、5日に開催された駅前区有地活用事業者説明会において、開業までのスケジュールが示された。そこで何点か質問する。</p> <p>①設計等の期間として、令和5年7月から令和6年6月までの約12ヶ月間とされているが、現状はどうか。</p> <p>②令和6年7月に土地を引き渡し、工事着工と計画されているが、現状はどうか。</p> <p>③令和6年7月に工事を着工し、約22ヶ月の工期を経て令和8年6月の開業を目指していると計画されているが、現段階で大きな変更等はないか。</p> <p>④令和5年3月24日に示された議会報告資料の施設計画(賑わい機能)で、1階に路面店(カフェ等)、駐車場、2・3階に物販店、4階に飲食店、5・6階に生活サービス、7階に屋上テラス、コミュニティスペースとされているが、現状はどのようになっているのか。</p> <p>⑤令和5年11月20日のエリアデザイン調査特別委員会の報告資</p>
	<p>2月15日 午前・午後 8時30分受付 質問時間 20分</p>

料で、地下部分の整備として、「駅と直結させることを想定し、地下部分を整備する。現在、駅直結に向けて鉄道事業者と協議中である」とされているが、現在の状況はどのようになっているのか。

(2) 新施設駐輪場及び近接駐輪場の整備について

- ①令和5年3月24日に示された議会報告資料の施設計画(駐輪場機能)で、M2階に定期利用298台(大型134台)、2階に定期利用403台とされているが、現状はどのようになっているのか。
- ②工事中も敷地内に600台の定期利用を確保するため、既存駐輪場を利用しながら、先に新規駐輪場を設置するとしているが、この計画が変更になるということか。
- ③令和5年11月20日のエリアデザイン調査特別委員会の報告資料で、近接駐輪場の整備として、「地下部分の工事と並行して、敷地内の仮設駐輪場(定期利用約600台)のスペースに配慮して工事を行うため、工期が1年程度延長される」としているが、それはどのようなことなのか。
- ④令和5年11月22日の段階で、区は令和5年12月22日を提出期限として、現在、区営「六町駅自転車駐車場」の定期利用者の方を対象に新設の駐輪場を利用できるよう「優先申込」を行ったが、利用者の反応はどうだったか。
- ⑤区は、六町駅交通広場の東側にある公有地を新設の駐輪場(B区営駐輪場)として利用することを、地元の町会に説明したと聞いている。個人的には駅の近くに駐輪場が整備されることに疑問を感じることは無かったが、地域の声を聞いてみると「六町は、みどり豊かなまちづくりを意識している」との発言があり、確かにもっともであると感じたし、区の担当にもそのことを伝えたが、その後、何か動きはあったのか。また、その対応についてどのように考えているのか。
- ⑥区は将来の公園予定地としている場所に、暫定的ではあるが一時利用者向けのための駐輪場整備を計画している。この場所は駅から離れており、無料で開放するとしても利用希望者がいるかどうか心配しているが、実際はどのような状況になっているのか。

	44番吉岡 茂
行政区分	質問の要旨
	<p>(3) 補助第140号線と環七の交差点の対応について</p> <p>①以前から環七と補助第140号線の交差点を先頭に渋滞が生じる ことの原因について、車線の配置に問題があると指摘してきた。そのことについて、区は警察や東京都を含めて交通実態調査を実施する旨の答弁があったように記憶しているが、今の段階でまだ報告がなされていない。仮に実施したのであれば、いつ・どこで・何日間行ったのか。</p> <p>②その結果、どのような結論に至り、どのような対応をするのか。</p> <p>③実施していないとすれば、その理由は何か。</p> <p>(4) 環七北通り（六町加平橋）と補助第140号線の間への信号機設置について</p> <p>①環七北通りの六町加平橋と補助第140号線の間はかなり距離があり、高齢者の方は環七北通りと補助第140号線の交差点にある横断歩道まで行くのが大変らしく、橋と交差点の間付近を横断している危険な姿を何回も目の当たりにしている。これまでも地域の皆さんの声を聞き、信号機を設置するよう要望してきた。それに対する区の見解は、「地域の中には信号機の設置に反対している人もいますので、意見を集約してほしい」とのことであった。それを受けて地域では昨年10月頃にアンケート調査を行い、信号機の設置を要望することになったと聞いている。そして、今年1月18日に足立区、東京都、警察、地元町会長、以下町会の各部長が集まり話し合いの場が設けられたとのことであるが、そこでは何が話し合われ、どのような意見等があったのか。</p> <p>②その結果、どのような結論に至ったのか。</p> <p>(5) 六町地区区画整理事業に伴い生じてきた課題について</p> <p>冒頭に申し上げたが、六町地区の区画整理事業も完了に向けて突き進んでいる。1年前は空き地だらけで、とても東京とは思えない風景であったが、現在は、公有地以外のほとんどに建設中の建物がギッシリ並び、かつての六町以上の活気が戻りつつあることを実感している。その一方で、区画整理事業により生じている課題も見えてきたので何点か質問する。</p>

区画整理事業開始以来、担税力のある若い世代の方々にも、高齢者の方々にも安心して住んでもらえるようなまちづくりを目指して地域や行政が一つになり、様々な問題に取り組んできた。その努力が実り、今日に至っていることは申し上げるまでもない。通勤、通学の時間帯などに六町駅を利用する方々の世代層も大きく拡がり、小さなお子さんを自転車に乗せて幼稚園や保育園に送迎している若い保護者の姿を見ると微笑ましく思う。高齢者の皆さんも散歩をしたり、公園などで運動をしたりと元気に生活をされている様子を見ると充実した気持ちになる。

だが喜んでばかりもいられない。それは六町駅周辺の町会への加入率が著しく低下していることである。一定程度、町会加入率が減少することを想定してはいたものの、ここまでとなると放置してはおけないと考える。特に六町町会においては町会加入率が20%を切る状態になっている。

今後、地震・水害を問わず災害がいつ起きてもおかしくない中で、地域コミュニティをはじめ、避難所の運営等にも大きな影響を及ぼすことは容易に想像できる。そこで質問する。

- ①それらを解決することが喫緊の課題であると考えているが、区として何か具体的な取り組みを検討しているのか伺う。
- ②本当の意味で区画整理事業が終了するのは、道路・公園・建物等のまちづくりが終了した後に生じてくる清算金の作業が済んだ時であると聞いた。清算金については、東京都の仕事であることと認識してはいたが、過日、近所の方に清算金について尋ねられて適切な回答をすることが出来なかった。そこで伺うが、清算金とは何を基準に算定されるのか。
- ③減歩をした地権者は清算金を支払うことはないと聞いたことがあるが、実際はどうか。
- ④所有していた土地の面積が30坪以下の地権者は清算金が生じるとの話も聞いたがどうか。
- ⑤私道を有していた地権者については、清算金の減額があると話す方がいるが、そのことはどうなのか。

⑥各地権者の清算金の詳細は既に決まっていて、区画整理事務所に問い合わせれば回答を得られる状況になっているのか。もし決まっていなれば、いつ頃詳細が明確になるのか。

⑦地権者の中には、換地後20年以上経過している方もおり、清算金のことを忘れてしまっている地権者もいるのではないかと危惧している。そこで東京都と足立区の共催で清算金に関する説明会を開催してはどうかと考えるが、区の見解を伺う。

(6) 綾瀬川の被覆修景工事について

現在、綾瀬川の被覆修景工事が進められている。先日も現状を確認するため現地に行ってみたところ、確かに工事を行っているが、まだ完成にはほど遠いように見えた。そこで質問する。

①私の中では今年度中に工事は完了すると聞いたように記憶しているが、実際の進捗率はどのようになっているのか。

②仮に工事に遅れが生じているなら、完成はいつ頃になると見込んでいるのか伺う。

2、グリーンスローモビリティについて

昨年10月に我が党は、葛飾区が先進的に取り組んでいるグリーンスローモビリティについて視察した。葛飾区の説明では、運転手の手配等運行管理をはじめ、運営に係る経費等もすべてを地域住民に委ねているとのことであった。

そもそも、なぜグリーンスローモビリティの導入に至ったのかというと、足立区と同様に交通空白地域が存在し、買い物や病院に通うことが困難な高齢者のためにと、地域の有志によるリーダーシップで始めたとのことであった。昨年10月の時点で週2日運行していて、車両のリース料は月額約15万円程度であり、想像していたより意外と安価であると感じた。

また、一般区民の方が運転をすることに不安を感じるのも事実であるが、それぞれの地域にはバスやタクシーのドライバーを経験された方々も少なくないのではないかと。そして、そのような皆さんの協力を得ながら運営することも視野に入れながら検討すべきと考える。そこで質問する。

行政区分

質問の要旨

- ①区はグリーンスローモビリティの導入について消極的であると聞いたことがある。先程も申し上げたが、運行上の安全等に不安があることを否定するつもりはないが、交通空白地域にお住まいの皆さんのことを考えると、全てをマイナスに捉えるだけではなく、どうすれば安全に運行できるのかも含めて考えるべきではないかと思うが、区の見解を伺う。
- ②一昨年、9月をもって東武バスの「花畑車庫」停留所が廃止され、その周辺地域の住民は六町駅に行くのにも、買い物や病院に行くのにも困っているという多数の声を聞いている。そこで葛飾区のように、地域の有志がリーダーシップを取り、近隣の町会と連携しグリーンスローモビリティの導入に向けて動き出した場合、足立区はそれに理解を示し、何らかの協力をする考えがあるのかどうか伺う。
- ③グリーンスローモビリティの導入が難しいならば、交通空白地域の解消を早期に解決する代替案は考えているのか、区の見解を伺う。